

スト体制で強制出向に立ち向い、鉄道労連を解体一掃し 「4・1 分割民営化」体制粉碎へ

日刊 動労千葉

87. 10. 12

No. 2675

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄道二九三五・六・公衆〇四七二二二七）

第12回定期大会の成功に向け

四月一日、分割・民営化強行以降半年余り、出向攻撃をはじめとする首切り、労働組合つぶし、人を人とも思わぬ奴隷的労務支配をなんとしてでも打ち破るために、全力で決起しなければならぬ。第十二回定期大会は、そのたまたかの突破口である。ストライキ体制を更に強固に打ち固め、「四・一 体制」を打ち破ろう！

出向阻止、不当労働行為粉碎のスト体制を更に打ち固めよ

出向をめぐる情勢は決定的な段階を迎えた。革マル松崎は、出向攻撃の先兵になりきり、各地方労働委員会に「出向命令取り消し勧告」を出さないように申し入れ運動を行い、また、JR東日本との「労使共同宣言」を締結する際は、「東日本一人最低一回の出向」を約束した。松崎は、中曽根や当局もできないことを、敵になりかわってやっつきの、組合つぶしと首切りを目的とした「出向」を鉄労や社員労の組合員に強要し、それと合わせて、国労や動労千葉もおしつけようとしているのだ。

差別・選別、奴隷的労務支配を打ち破れ！

「四月一日」以降、JR各社では、全く不当な攻撃が相次いでいる。「貨車解体に配転された労働者の『特殊健康診断』で、『重労働は不向き』と医師の診断が書いてあった通知書が、中央保健

管理所で『重労働……』の部分で修正液でぬられて本人に渡された」（東京）「ジュースの臨時売店に配転された労働者が『おっかない顔をしているから売れない』と助役に言いがかりをつけられ、抗議したところ『勤務態度が悪るい』と出勤停止三〇日（新幹線）」等々、千葉においても強制配転をはじめとした全く不当な攻撃が相次いでいる。

大会の成功を機にストを辞さず、総反撃へ

しかし、出向をはじめとした数々の不当労働行為は、敵のあせりのあらわれでしかない。「四月一日までに国労や動労千葉をたたきつぶす」ことに完全に失敗しているからこそ、いまなお不当な攻撃が続けられているのだ。しかも、当局の体制は、けっして万全ではない。国鉄時代よりまして、JRの経営危機は深刻となり、その矛盾がふき出ることには絶対避けられない。

いまや、国鉄労働者の怒りは頂点に達しようとしている。全国のたまたかう仲間、動労千葉・動労連合の一挙手一投足に注目しているのだ。今大会を機に、スト体制の強固な構築をかちとり、全力で反撃へ打って出よう。

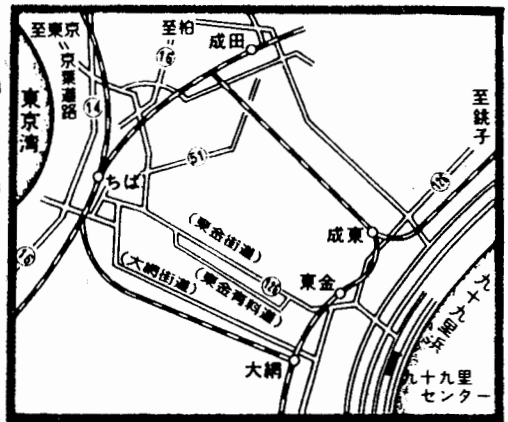
紳士・婦人服 展示即売会の開催

カナメ商事は、五月に開催しました夏服即売会に引き続き、「ロッキンガム三東」（一流メーカー品）の紳士・婦人服を破格のお値段で、即売します。

多くの方々に御来場いただきますようお願い申し上げます。尚、顧客の御紹介も併せてお願い致します。

- 1、日時 十一月二十八〜二十九日
- 2、場所 労働者福祉センター

会場-九十九里センター



交通のご案内

○大網駅から小湊鉄道バス九十九里センター行終点（三五分）
○東金駅から九十九里鉄道バス九十九里センター行終点（三〇分）